

2013 国際教養科 NEWS 12月

「未来塾ながの in 韓国」長野県高校生訪韓研修参加報告 11/17(日)～11/23(土)

11/17(日)から11/23(土)までの6泊7日で、長野県教育委員会主催の「未来塾ながの in 韓国」長野県高校生訪韓研修があり、本校からは、普通科2年田中陽子さんと国際教養科2年倉井千奈さんの2名の生徒が参加しました。(長野県から46名の高校生が参加)

日本の文部科学省にあたる国立国際教育院表敬、在大韓民国日本国大使館訪問、企業訪問、地元高校生との合同見学と夕食交流、眞乾(チンゴン)高等学校での高校生との交流、キムチ作り体験、韓国の伝統衣装・礼儀作法・テコンドー・サムルノリの韓国の伝統文化の体験学習などとても充実した内容の楽しい研修になりました。



韓国の民族衣装チマチョゴリを着て

楽しく充実したものにできるか不安もありましたが、1週間の間には殆どの友だちと会話ができ、いつの間にか、ある学校の1つのクラスのような一体感、団結力を感じるまでになっていました。これからも一生仲良くしていける友だちができました。韓国では企業訪問、高校訪問、ホームステイ、キムチ作り、日本国大使館訪問、サムルノリという伝統楽器の体験、チマチョゴリという伝統衣装体験をし

今回、私は長野県の高中生キャリアプログラム「未来塾ながの in 韓国」に参加し、韓国へ1週間の研修旅行に行かせていただきました。この研修は日本経済の再生に向けた外務省 JENESYS2.0 という事業の1つとして公益財団法人である日韓文化交流基金の主催で実施されました。応募の中から県内の高校生46人が選ばれ、3回の事前学習もありました。メンバーは全くの初対面であったし、打ち解け



キムチ作りの名人から講習を受ける

たり、ロツテマートというショッピングセンターに行ったりと、書ききれないほどいろいろな物や文化に触れ、たくさんの人と出会いました。韓国に行く前は、前々から興味があった地に行ける期待とともに、外交関係や歴史問題で溝のある韓国へ渡ることには不安もありました。しかし、韓国の人々はとても温かく私たちを受け入れてくれ、今でも連絡を取り合っている友だちもいます。韓



キムチは毎食、食卓に

国の人々には私が日本のメディアから受ける韓国の印象とは全く違うものがありました。私は日韓の間には多くの誤解があると思います。そしてその誤解はお互いが本当に歩み寄ろうと思えば、意外と簡単に解けるのではないかと感じました。(普通科2年田中陽子)



今回の韓国研修では、多くの人と出会い、多くのことを学ぶことができました。毎日の食事でも、日本ではあまり食べない韓国料理をよく食べました。たとえば、プルコギ(韓国風すき焼き)、トッポギ(餅の煮込み)、キムパ(韓国のり巻き)など珍しい料理を堪能しました。キムチも毎日食べたので、辛い物が得意になりました。体験学習では、キムチ作りの時は工場に行き、キムチ作りの名人に説明してもらいながらキムチを作りました。チマチョゴリ(民族衣装)は着て

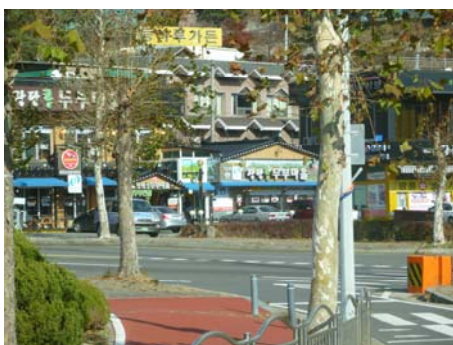
韓国料理は舌鼓を打つものばかり いる人の身分や階級を示し、色によって求婚などの意志を伝えることができます。チマチョゴリは色が鮮やかで、とても素敵でした。また、地元の高中生との夕食交流では、皆が温かく私たちを迎えてくれ、韓国料理を大いに楽しみました。眞乾(チンゴン)高等学校での高校生との交流では、2時間だけ授業を受けたのですが、積極的に話しかけてきて、授業の説明をくわしくしてくれました。ホームステイも1日だけしましたが、家族はとても親切で、別れるのが非常に寂しかったです。韓国の人には温かい人ばかりで、この研修のお陰で、一層韓国が好きになりました。もしこの研修に参加しなければ、韓国についてこんなに知ることはできなかったと思いますし、他の人にもぜひ、韓国へ



眞乾(チンゴン)高等学校の高校生と交流

行って、多くのことを知ってほしいと思いました。今回の研修を通して、現地に行かなければわからないことがこの世の中にたくさんあることを知りました。だから、これからも世界のいろいろな場所に行き、経験を積み重ね、視野を広めたいです。

(国際教養科2年 倉井 千奈)



韓国の街の風景



眞乾(チンゴン)高等学校の給食



地元の高中生との夕食交流